



Wakate News Letter vol. 22

2010. 5. 6 発行

0. 若手研究者育成推進委員会よりお知らせ

○筑波大学「次代を担う若手大学人育成イニシアティブ」 若手教員の間評価審査結果について

審査アドヴァイザリー委員会ならびに若手研究者育成推進委員会において慎重に選考を行った結果、下記5名を優秀者と判定し、インセンティブを付与することを決定いたしました。

尚、今回の中間評価においては、多数の優秀者の中から5名のみを選考しなければならず、その作業は困難をきわめたことを付記いたします。若手イニシアティブ教員各位におかれては、最終評価に向けてなお一層のご活躍を期待しています。

人間総合科学研究科 助教	長谷川潤
人間総合科学研究科 助教	鈴木裕之
数理物質科学研究科 助教	八田佳孝
生命環境科学研究科 助教	三浦謙治
生命環境科学研究科 助教	丹羽隆介

(発表順)

1. 活動報告

1) セミナー ('10年4月)

▽若手イニシアティブセミナー

第42回

日時：2010年4月19日(月) 15:15～

演者：Paul M. Hasegawa (Department of Horticulture and Landscape Architecture, Purdue University, USA)

演題：AtGTL1 regulates transpiration and water-use efficiency by controlling stomatal number through transcriptional repression of SDD1

会場：総合研究棟 A 棟 110

世話人：三浦 謙治

2) 業績

<総説> ('10年4月)

Lissarre, M., Ohta, M., Sato, A., **Miura, K.*** Cold-responsive gene regulation during cold acclimation in plants. *Plant Signal. Behav.* in press. (2010)

<原著論文> ('10年4月)

Ryusuke Niwa, Toshiki Namiki, Katsuhiko Ito, Yuko Shimada-Niwa, Makoto Kiuchi, Shinpei Kawaoka, Takumi Kayukawa, Yutaka Banno, Yoshinori Fujimoto, Shuji Shigenobu, Satoru Kobayashi, Toru Shimada, Susumu Katsuma and Tetsuro Shinoda, Non-molting glossy/shroud encodes a short-chain dehydrogenase/ reductase that functions in the "Black Box" of the ecdysteroid biosynthesis pathway, *Development*, in press

Hiroshi Nishimaru, Tadachika Koganezawa, **Miyo Kakizaki**, Tatsuhiko Ebihara, and Yuchio Yanagawa Inhibitory synaptic modulation of Renshaw cell activity in the lumbar spinal cord of neonatal mice, *Journal of Neurophysiology*, in press.

<学会発表・招待講演> ('10年3月)

三浦謙治、**太田賢**、Paul M. Hasegawa

日本農芸化学会 2010 年大会

演題：「ICE1 活性化による凍結耐性の向上」(口頭)

日時：2010年3月28日(日)

場所：東京(東京大学)

中城治之、山田小須弥、長谷川宏司、後藤伸治、**三浦謙治**、繁森英幸

日本農芸化学会 2010 年大会

演題：「重金属処理したシロイヌナズナにおける Arabidopsis 類の生成と機能」

日時：2010年3月28日(日)

場所：東京(東京大学)

3) 外部資金獲得状況 ('10年4月)

丹羽隆介

<科学研究費補助金 若手研究 (B) >

「let-7 マイクロRNA依存的発生タイミング経路のゲノムワイド解析」

(H22.4-H24.3 413万円)

丹羽隆介

<加藤記念バイオサイエンス研究振興財団・国際交流助成>

「The 17th International Ecdysone Workshop 派遣」

(H22.7 30万円)

丹羽隆介

<H22年度 JAMBIO 共同利用・共同研究> (採択課題No.22-35)

「コレステロール代謝酵素Neverlandの海産無脊椎動物における機能解析」

(H22.4-H23.3)

奥脇 暢

<科学研究費補助金 基盤研究 (C) >

「クロマチン構造変換にかかわる RNA 分子の新規機能」

(H22-H24)

4) 特許出願 ('10年3月)

金保安則、本宮綱記、長谷川潤、周森

出願：GTP 結合型 ARF6 タンパク質の測定方法及びその用途

特許出願番号 2010-063109 (出願日：平成22年3月18日)

5) 若手運営調整委員会よりお知らせ

○若手分子医学クラスシリーズ (春季シリーズ) 記録 (4月)

▽分子・細胞医学クラス (担当：高崎真美、長谷川潤)

第1回 4/17

- Dopamine D2 receptors in addiction-like reward dysfunction and compulsive eating in obese rats (Nat Neurosci)
- Cortical plasticity induced by inhibitory neuron transplantation (Science)
- Molecular basis of infrared detection by snakes (Nature)

第2回 4/24

- Somatic sex identity is cell autonomous in the chicken (Nature)
- The bacterial virulence factor InlC perturbs apical cell junctions and promotes cell-to-cell spread of Listeria (Nat Cell Biol)
- Chemoprevention of colorectal cancer by targeting APC-deficient cells for apoptosis (Nature)

▽がんの生物学クラス (担当：鈴木裕之)

第1回 4/17

- micro RNA and Cancer

2. スケジュール ('10年5月)

6日 (木) 11:00~12:00

振興調整費合同会議 総合研究棟 D-115

13日 (木)・14日 (金)

若手フェスティバル2010 in 菅平

プチホテル・ゾンタック (長野県上田市菅平高原 1223)

菅平高原実験センター

3. 事務連絡

○平成22年度職員定期一般健康診断、特殊健康診断及び癌検診等の実施について (通知)

平成22年4月23日付け山田学長名にて、平成22年度職員定期一般健康診断、特殊健康診断及び癌検診等の実施について通知がありました。

筑波キャンパス：平成22年5月25日 (火) ~6月2日 (水)

(午前) 9時00分~11時30分

(午後) 13時30分~15時30分

保健管理センター 大学会館

○夏季一斉休業について (通知)

平成22年4月23日付け鈴木副学長名にて、夏季一斉休業について

下記のとおり通知がありました。

1. 一斉休業日

平成22年8月12日 (木) 及び13日 (金)

ただし、専ら夜間において教育を行う大学院の教育及び附属学校教育局における教育相談業務を行う組織にあつては8月13日 (金) 及び14日 (土)、ビジネス科学等支援室及び附属図書館大塚図書館にあつては8月13日 (金) 及び16日 (月) とする。

2. 趣旨等

省エネルギー及びCO₂排出削減に資するとともに、連続した休日等を確保し、職員の健康増進・家庭生活の充実のため、附属病院及び大学会館を除く全組織で実施します。

3. 一斉休業日の取扱い

一斉休業期間中は、附属病院及び大学会館を除き、原則、土曜日及び日曜日などの休日と同じように、電気、水道、ネットワークなどは停止しませんが、集中冷房運転は停止されます。

4. 一斉休業日の休暇の取扱い

常勤職員については一斉休業日の2日を特別休暇として、非常勤職員については勤務日に応じた有給の休暇として取り扱うこととします。なお、特別休暇及び有給の休暇は、一斉休業に限って付与されるものであり、後日取得できるものではありません。

ただし、業務の都合により当該日にやむを得ず業務を行う必要がある場合については、当該日に相当する日数を特別休暇又は有給の休暇として取得するものとします。

5. 一斉休業を実施しない組織における取扱い

附属病院及び大学会館においては、業務の都合上一斉休業を実施できないため、原則として平成22年7月から9月までの期間に、常勤職員については、従来の夏季の特別休暇 (3日) に加え2日の特別休暇を付与することとなります。非常勤職員については、連続した2日の有給の休暇が付与されます。(勤務が予定されている日に限ります。)

○教育研究体制の在り方に関するご意見の募集について (お知らせ)

平成22年4月27日付け教育研究体制の在り方検討委員会委員長名にて、教育研究体制の在り方に関するご意見の募集についてお知らせがありました。

1. 募集方法

次の(1)又は(2)の方法により、ご意見をお寄せください。ただし、原則として、匿名のご意見は受け付けません。

(1)電子メール：ariken@un.tsukuba.ac.jp

(2)学内メール：宛先「総務部総務課気付 教育研究体制の在り方検討委員会」

2. 募集内容及び受付期間

「優先的に検討すべき課題について」 (5月31日まで)

Wakate News Letter vol.22 [平成22年5月号]

編集・発行：若手研究者運営調整委員会

*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。

連絡先：若手支援室

連絡先：若手支援室 担当 根本

nemoto.yoko.fb@un.tsukuba.ac.jp